

2021年8月期（第43期）

決算補足説明資料

 ユーピーアール株式会社

（証券コード：7065）

2021年10月15日

やってみようupr

The logo consists of three orange dots of varying sizes arranged in a curve, with a thin orange line connecting them to form a partial circle.

# *Social Sharing Supporter*

社会のインフラをシェアするUPR

「やってみようupr」をコーポレートメッセージにわくわく・楽しく挑戦する企業を目指しています。

木製パレットの製造業者として、山口県宇部市に創業し  
「パレットを通じ人々の生活を便利にすること」を事業原点として社業発展に励んでまいりました。

人手不足などの社会的課題や、DXの加速、そして生活様式の変化が著しいなか、  
「Social Sharing Supporter」としてステークホルダーの皆様とともに成長し、  
物流+IoTの力で“シェア”による豊かな社会インフラの構築を実現してまいります。

1. 2021年8月期 決算説明 P. 3
2. 2022年8月期 業績予想 P. 11
3. 今後の取組および方針 P. 19
4. 中期経営計画2025の進捗 P. 30
5. 参考資料 P. 34



# 1. 2021年8月期 決算説明

## 業績

売上高  
12,927百万円

経常利益  
850百万円

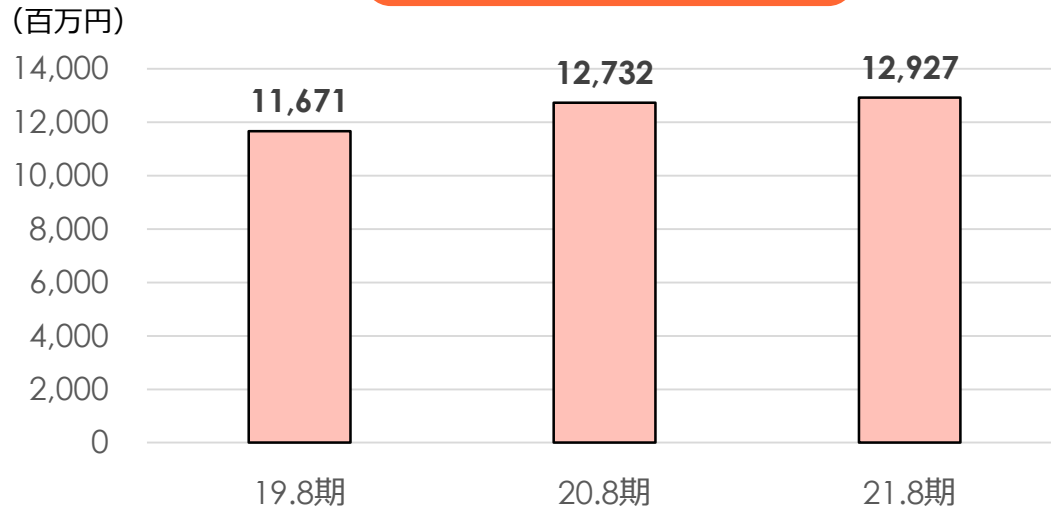
EBITDA※  
3,437百万円

- 販売事業等の売上が好調であったことから対前年比増収となったものの、主力であるレンタル事業での減収が響き、また減価償却等の原価増をカバーできず減益となった  
(増減率 売上高：1.5% 経常利益：△38.4% EBITDA：△8.9%)
- 修正通期業績予想に対して、概ね予想どおりの着地  
(増減率 売上高：0.6% 経常利益：6.3% EBITDA：1.0%)
- 配当は期初の発表どおり、1株当たり**13円**とする

※EBITDA = 税引前当期利益 + 減価償却費 + 支払利息

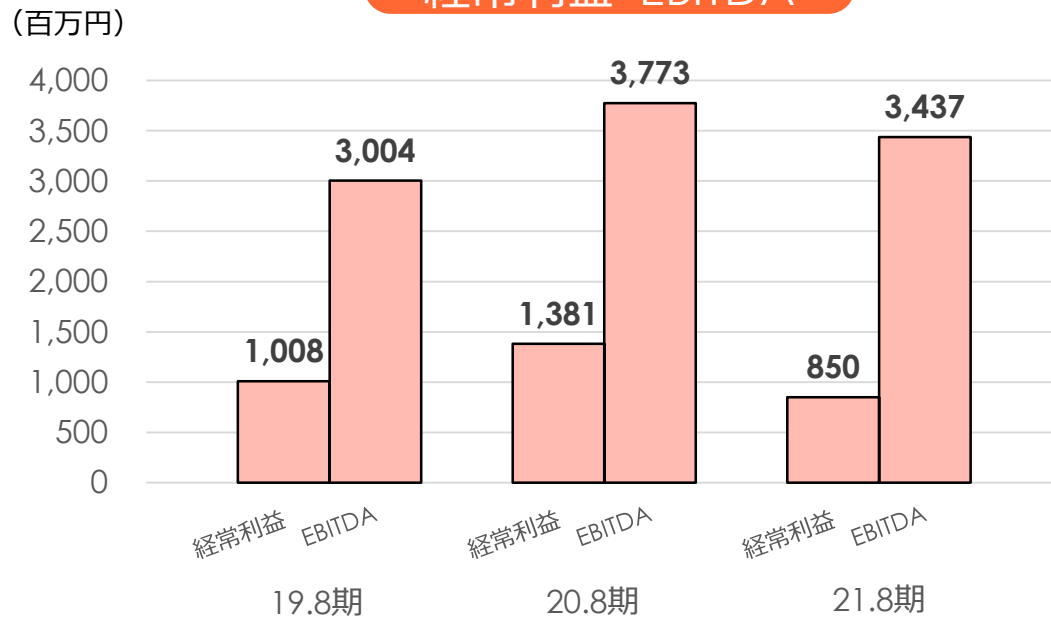


## 売上高



売上高  
対前年比で  
**+1.5%増収**

## 経常利益・EBITDA



経常利益  
対前年比で  
**△38.4%減益**

EBITDA  
対前年比で  
**△8.9%減益**

- 輸送用レンタルパレット売上は順調に成長し対前年比売上比率が上昇（20.8期：15%⇒21.8期：20%）したが、保管用レンタルパレットの売上減が響き、レンタルは対前年△221百万円（同比△2.6%）の売上減少
- 次世代対応型事業のうち、アシストスーツは当社の想定を下回ったものの、4Qは四半期売上として過去最高の52百万円を計上。また、アシストスーツ、物流IoT、ICTは対前年比15%超の成長率を見せており、今後も更なる市場の拡大が見込まれる

（単位：百万円）

		20.8期	業績予想 (2021.7.14公表)	21.8期	対前年比		対業績予想比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
物流事業	レンタル	8,557	8,297	<b>8,335</b>	△221	△2.6%	38	0.5%
	販売	2,794	3,044	<b>3,080</b>	285	10.2%	35	1.2%
	アシストスーツ	150	193	<b>174</b>	23	15.8%	△19	△9.9%
	物流IoT	342	396	<b>399</b>	56	16.6%	3	0.8%
	合計	11,845	11,932	<b>11,990</b>	145	1.2%	57	0.5%
コネクティブ事業	ICT	349	485	<b>490</b>	141	40.4%	5	1.2%
	ビークルソリューション	537	432	<b>446</b>	△91	△17.0%	13	3.2%
	合計	887	917	<b>937</b>	49	5.6%	19	2.1%
<b>全社合計</b> (うち海外)		<b>12,732</b> (476)	<b>12,850</b> (469)	<b>12,927</b> (504)	<b>194</b> (27)	<b>1.5%</b> (5.8%)	<b>77</b> (35)	<b>0.6%</b> (7.6%)

# 損益計算書 (PL)

(単位：百万円)	20.8期	業績予想 (2021.7.14公表)	21.8期	対前年比		対業績予想比	
				増減額	増減率	対業績予想 増減額	対業績予想 増減率
売上高	12,732	12,850	<b>12,927</b>	194	1.5%	77	0.6%
売上原価	8,109	8,873	<b>8,944</b>	834	10.3%	70	0.8%
売上総利益	4,622	3,976	<b>3,982</b>	△640	△13.8%	6	0.2%
売上総利益率	36.3%	30.9%	<b>30.8%</b>	△5.5pt	-	△0.1pt	-
販売費及び一般管理費	3,488	3,484	<b>3,452</b>	△35	△1.0%	△31	△0.9%
販管費率	27.4%	27.1%	<b>26.7%</b>	△0.7pt	-	△0.4pt	-
営業利益	1,134	492	<b>530</b>	△604	△53.3%	37	7.7%
営業利益率	8.9%	3.8%	<b>4.1%</b>	△4.8pt	-	0.3pt	-
経常利益	1,381	800	<b>850</b>	△531	△38.4%	50	6.3%
経常利益率	10.8%	6.2%	<b>6.6%</b>	△4.2pt	-	0.4pt	-
当期純利益	984	515	<b>561</b>	△423	△43.0%	46	9.0%
当期純利益率	7.7%	4.0%	<b>4.3%</b>	△3.4pt	-	0.3pt	-
設備投資額	4,680	2,269	<b>2,099</b>	△2,580	△55.1%	△169	△7.5%
減価償却費	2,288	2,569	<b>2,559</b>	270	11.8%	△10	△0.4%
EBITDA	3,773	3,404	<b>3,437</b>	△336	△8.9%	33	1.0%
研究開発費	129	94	<b>91</b>	△37	△29.0%	△2	△2.5%

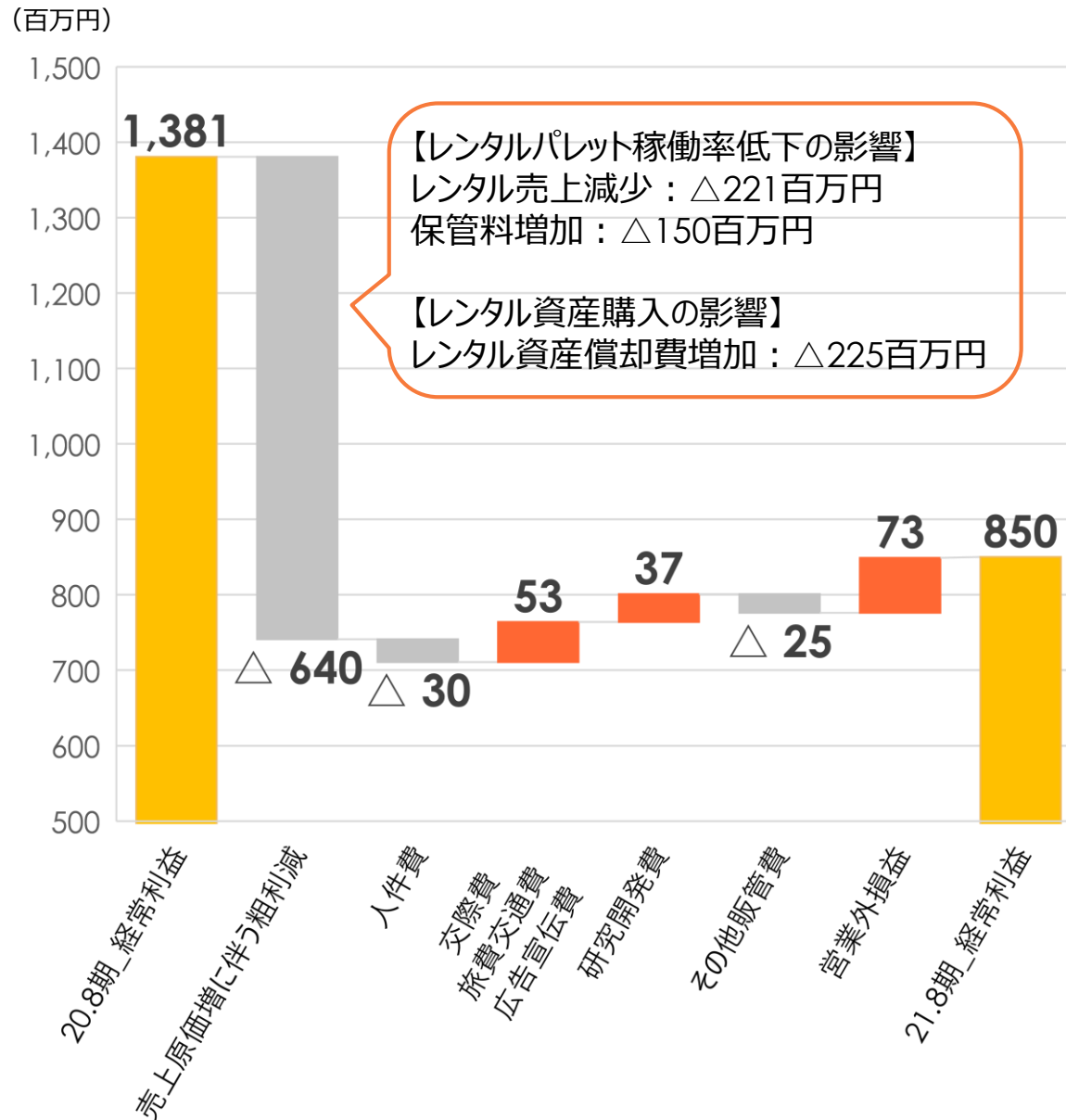


# 貸借対照表（BS）・キャッシュフロー計算書（CF）

(単位：百万円)	20.8期	21.8期	増減額	コメント
流動資産	6,105	<b>5,186</b>	△918	
現金及び預金	3,658	<b>2,714</b>	△944	
固定資産	13,923	<b>13,341</b>	△581	兵庫三木デポ第二倉庫完成
レンタル資産（純額）	10,627	<b>9,603</b>	△1,023	レンタルパレット購入の抑制により減少
資産合計	20,029	<b>18,528</b>	△1,500	
負債合計	13,285	<b>11,312</b>	△1,972	買掛金、長期借入金の減少
株主資本	6,734	<b>7,195</b>	461	
純資産	6,743	<b>7,215</b>	472	利益剰余金の増加
負債・純資産合計	20,029	<b>18,528</b>	△1,500	
自己資本比率（%）	33.6%	<b>38.8%</b>	5.2%	

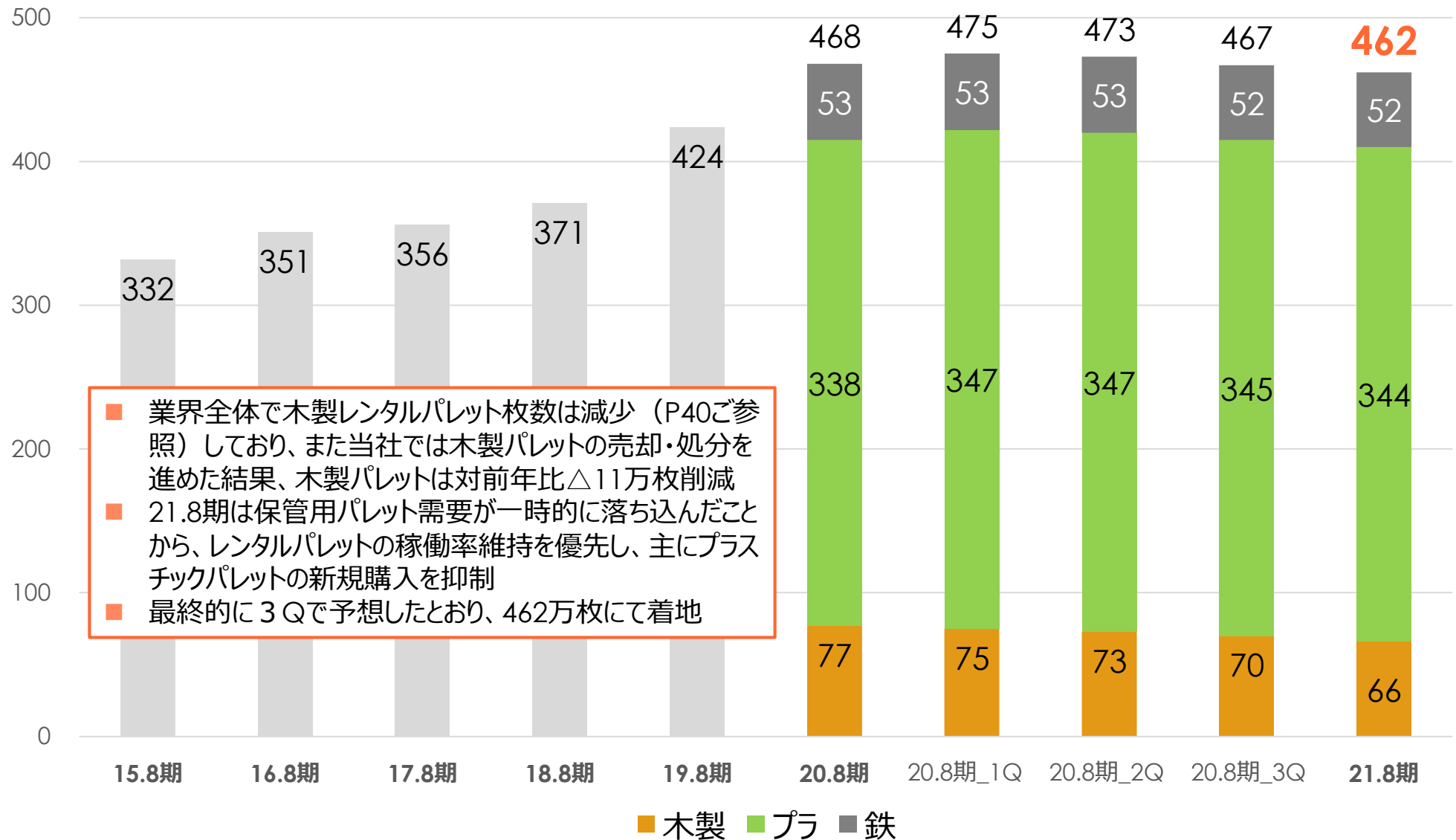
	20.8期	21.8期	増減額	コメント
営業活動によるキャッシュフロー	3,301	2,906	△395	当期純利益の減少
投資活動によるキャッシュフロー	△4,245	△3,181	1,063	レンタルパレット購入の抑制によるもの
財務活動によるキャッシュフロー	1,580	△675	△2,255	長期借入金返済によるもの
現金及び現金同等物の増減額	634	△944	△1,578	
現金及び現金同等物期末残高	3,658	2,714	△944	

# 経常利益の増減分析（対前年）



- 売上原価増に伴う粗利減  
稼働率の低下やパレットの減価償却費が増加したことで原価率が上昇  
粗利益は640百万円減少
- 人件費  
対前年比2人増  
従業員給与のベースアップ実施等により  
費用増加
- 交際費・旅費交通費・広告宣伝費  
コロナ禍による営業制限等により抑制し、  
対前年比で改善
- 研究開発費  
20.8期  
ビークルソリューション  
次世代車載器開発：41百万円
- 営業外損益  
保険解約返戻金：75百万円

(万枚)



- 業界全体で木製レンタルパレット枚数は減少（P40ご参照）しており、また当社では木製パレットの売却・処分を進めた結果、木製パレットは対前年比△11万枚削減
- 21.8期は保管用パレット需要が一時的に落ち込んだことから、レンタルパレットの稼働率維持を優先し、主にプラスチックパレットの新規購入を抑制
- 最終的に3Qで予想したとおり、462万枚にて着地



## 2. 2022年8月期 業績予想

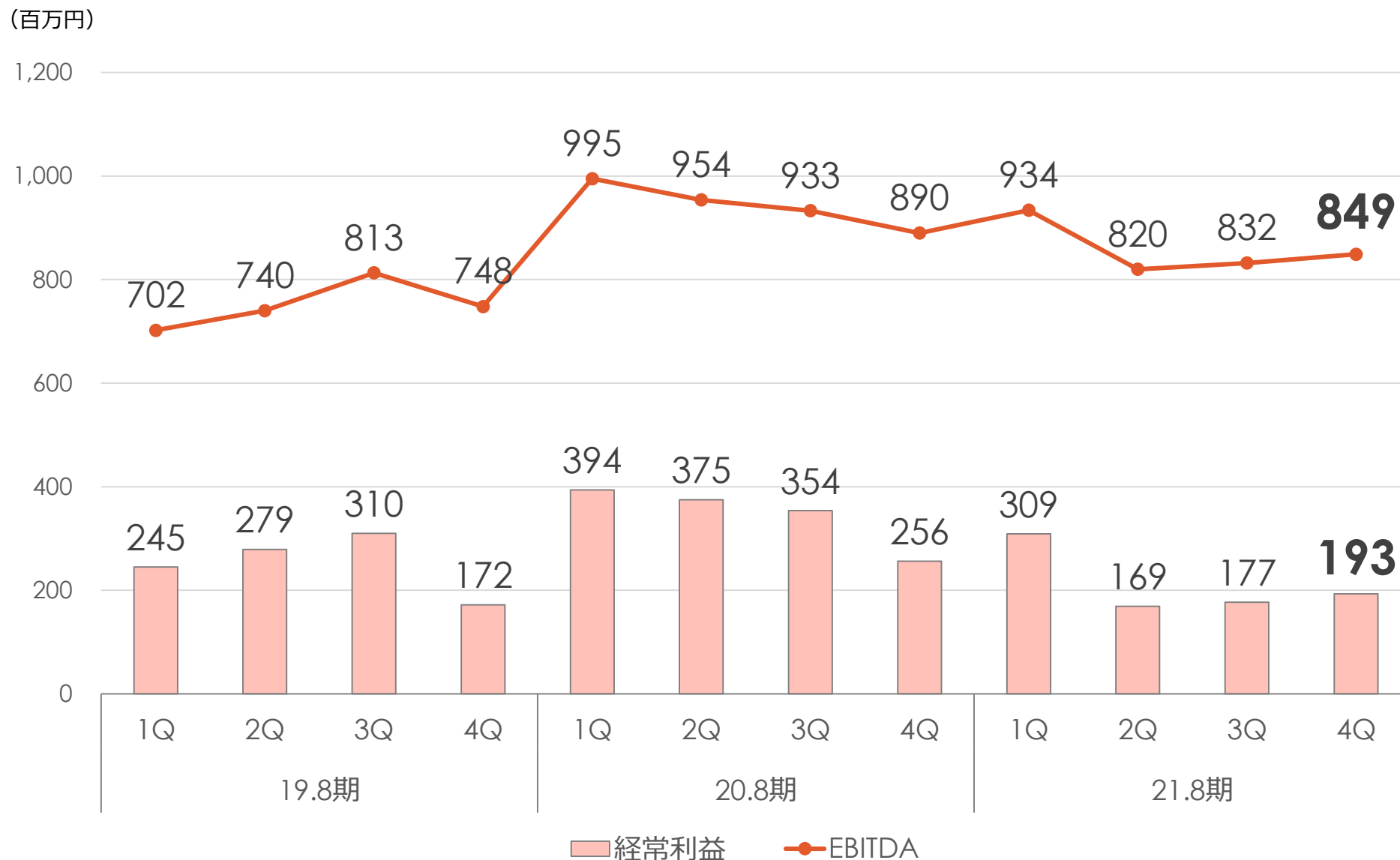
## 【業績予想策定前提】

- 22.8期も新型コロナウイルス感染症は終息せず、第六波の到来も予見されるが、ワクチン接種も進み、With コロナの中でも経済活動は徐々に回復していくものと想定
- 四半期毎にレンタル稼働率が上昇していくと想定しており、それに伴い下期にかけてレンタルの利益率も改善
- 次世代対応型事業においては順調に成長を続けており、引き続き高い需要が見込まれる

(単位：百万円)

	21.8期 2Q (実績)	22.8期 2Q (予想)	前期比		21.8期 通期 (実績)	22.8期 通期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	6,314	<b>6,574</b>	259	4.1%	12,927	<b>13,831</b>	903	7.0%
営業利益	300	<b>322</b>	21	7.2%	530	<b>1,018</b>	488	92.0%
営業利益率	4.8%	<b>4.9%</b>	0.1pt	—	4.1%	<b>7.4%</b>	3.3pt	—
経常利益	479	<b>412</b>	△67	△14.0%	850	<b>1,200</b>	349	41.1%
経常利益率	7.6%	<b>6.3%</b>	△1.3pt	—	6.6%	<b>8.7%</b>	2.1pt	—
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	297	<b>267</b>	△30	△10.1%	561	<b>779</b>	217	38.8%
1株当たり配当 (円)	—	—	—	—	13	<b>13</b>	±0	0.0%

# 経常利益及びEBITDAの推移（四半期毎）



※19.8期第1四半期の各数値は金融商品取引法に基づく公認会計士監査を受けた数値ではありません。



- 保管用レンタルパレットについては、経済の回復に伴い保管用パレットの需要が徐々に回復
- 輸送用レンタルパレットについては引き続き高い需要を見込む
- その他の次世代対応型事業については中期経営計画で掲げたとおり、新たな事業の柱とすべく、事業拡大を図る

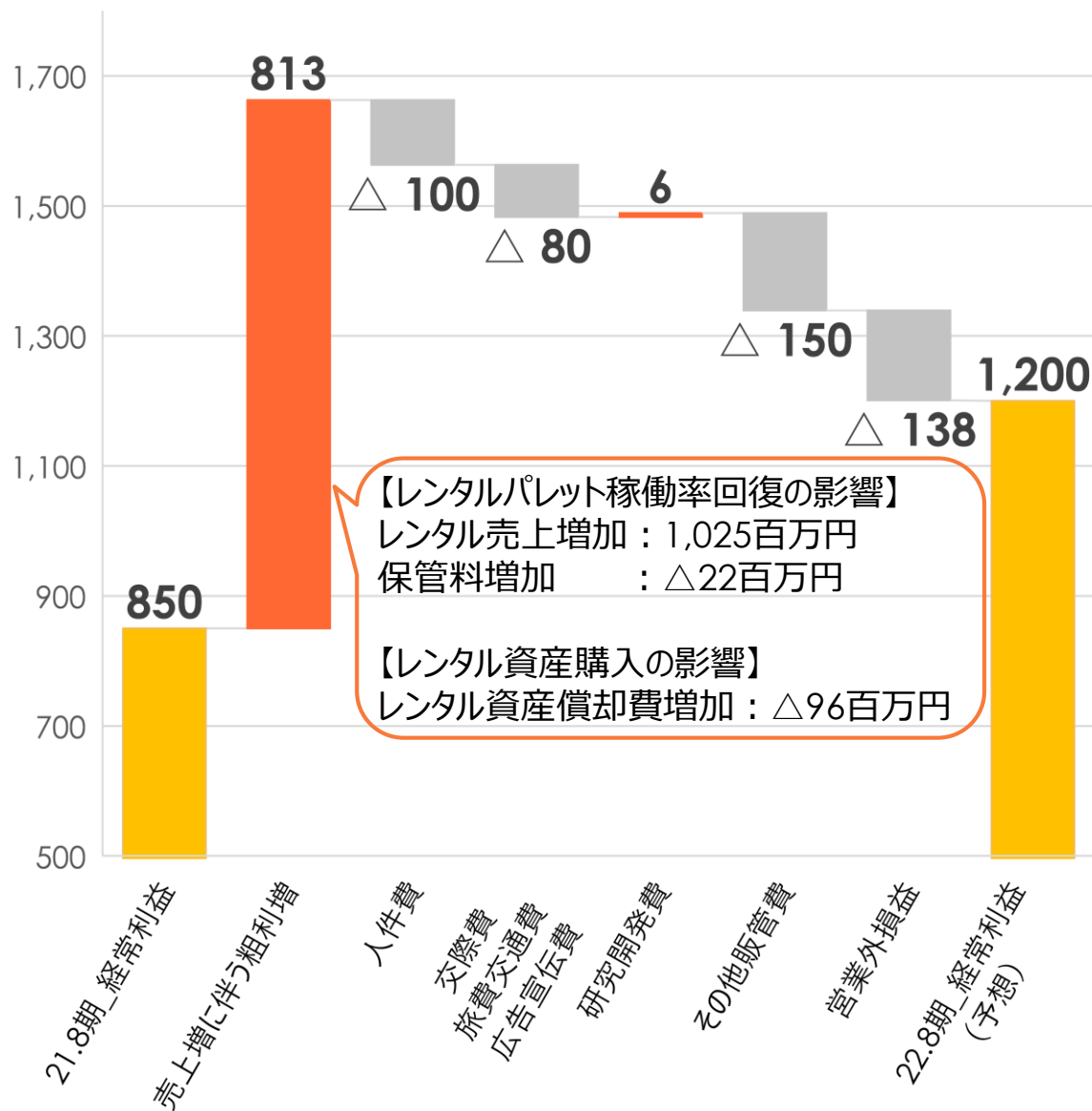
(単位：百万円)

		21.8期_2Q (実績)	22.8期_2Q (予想)	対前年比		21.8期_通期 (実績)	22.8期_通期 (予想)	対前年比	
				増減額	増減率			増減額	増減率
物流事業	レンタル	4,212	4,481	268	6.4%	8,335	9,360	1,025	12.3%
	販売	1,411	1,324	△86	△6.1%	3,080	2,702	△378	△12.3%
	アシストスーツ	80	97	17	21.6%	174	280	105	60.5%
	物流IoT	183	232	49	26.8%	399	494	94	23.7%
	合計	5,887	6,136	248	4.2%	11,990	12,837	847	7.1%
コネクティッド事業	ICT	208	269	61	29.3%	490	572	81	16.6%
	ビークルソリューション	218	168	△50	△23.1%	446	421	△24	△5.5%
	合計	427	437	10	2.5%	937	993	56	6.0%
<b>全社合計</b> (うち海外)		<b>6,314</b> (250)	<b>6,574</b> (232)	<b>259</b> (△18)	<b>4.1%</b> (△7.3%)	<b>12,927</b> (504)	<b>13,831</b> (467)	<b>903</b> (△37)	<b>7.0%</b> (△7.4%)

# 損益計算書 (PL)

(単位：百万円)

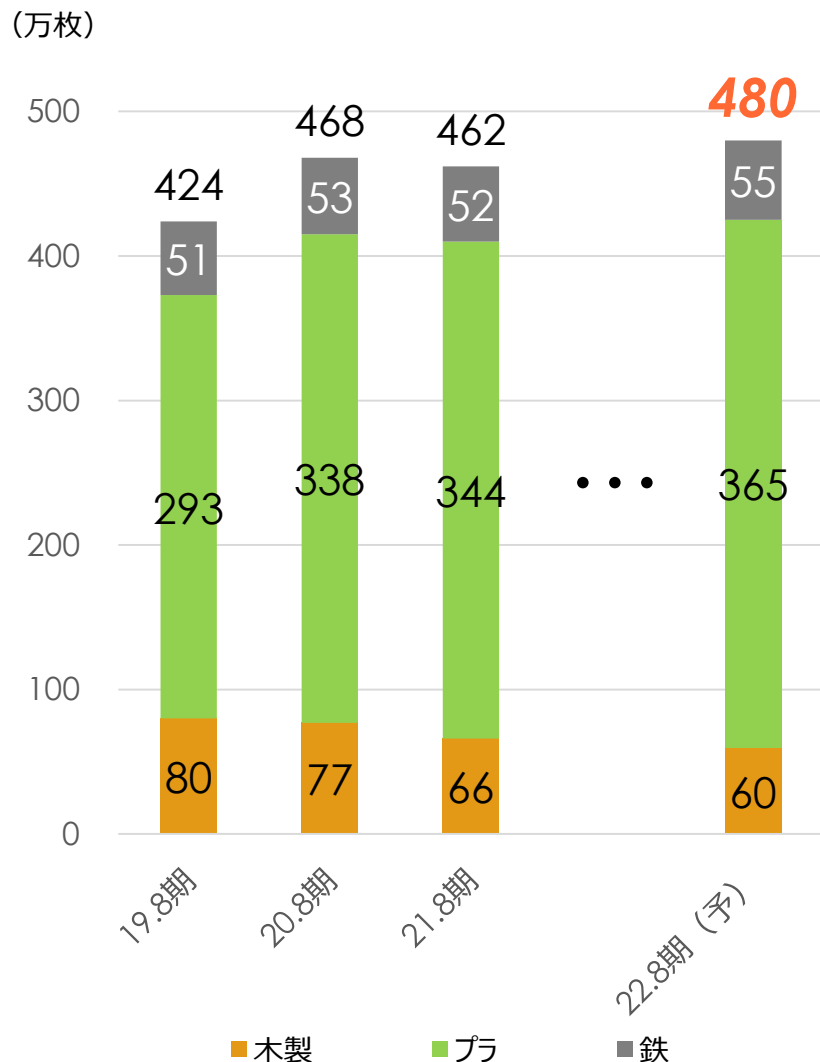
	21.8期_2Q (実績)	22.8期_2Q (予想)	対前年比		21.8期_通期 (実績)	22.8期_通期 (予想)	対前年比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	6,314	6,574	259	4.1%	12,927	<b>13,831</b>	903	7.0%
売上原価	4,272	4,439	167	3.9%	8,944	<b>9,035</b>	90	1.0%
売上総利益	2,042	2,134	92	4.5%	3,982	<b>4,796</b>	813	20.4%
売上総利益率	32.3%	32.5%	0.2pt	-	30.8%	<b>34.7%</b>	3.9pt	-
販売費及び一般管理費	1,741	1,812	70	4.0%	3,452	<b>3,777</b>	325	9.4%
販管費率	27.6%	27.6%	0.0pt	-	26.7%	<b>27.3%</b>	0.6pt	-
営業利益	300	322	21	7.2%	530	<b>1,018</b>	488	92.0%
営業利益率	4.8%	4.9%	0.1pt	-	4.1%	<b>7.4%</b>	3.3pt	-
経常利益	479	412	△67	△14.0%	850	<b>1,200</b>	349	41.1%
経常利益率	7.6%	6.3%	△1.3pt	-	6.6%	<b>8.7%</b>	2.1pt	-
当期純利益	297	267	△30	△10.1%	561	<b>779</b>	217	38.8%
当期純利益率	4.7%	4.1%	△0.6pt	-	4.3%	<b>5.6%</b>	1.3pt	-
設備投資額	1,467	1,528	60	4.2%	2,099	<b>4,651</b>	2,551	121.5%
減価償却費	1,262	1,305	43	3.5%	2,559	<b>2,629</b>	70	2.8%
EBITDA	1,754	1,739	△14	△0.9%	3,437	<b>3,872</b>	435	12.7%
研究開発費	25	29	3	15.3%	91	<b>85</b>	△6	△6.8%



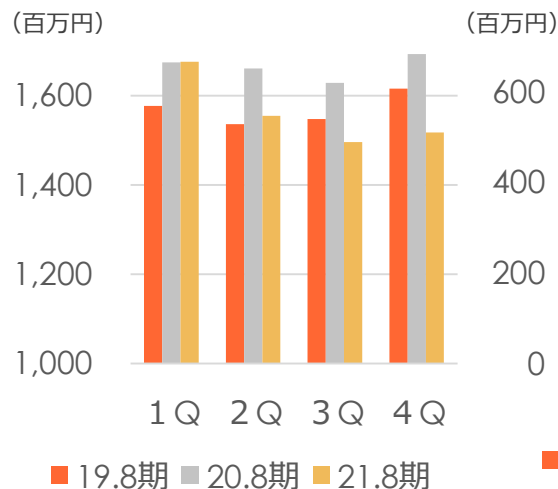
- レンタル稼働率の回復による売上利益率の改善を主因とし、対前年比粗利益増加額813百万円
- 人件費  
 対前年比5人増
- その他販管費  
**DX化の推進を図るため、支払手数料等が増加 (対前年比+161百万円)**
- 営業外損益  
 21.8期  
 保険解約返戻金：75百万円

# レンタルパレット保有枚数推移および各種指標

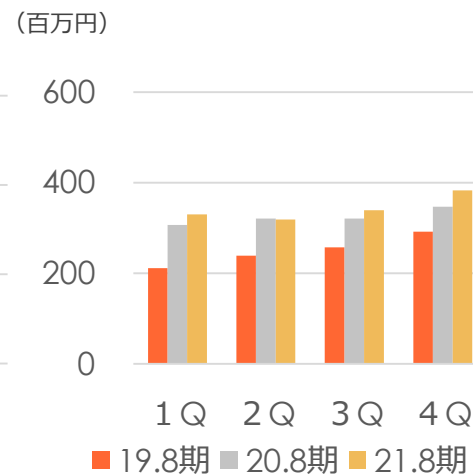
- 22.8期においてもパレットの稼働率等を勘案しながら、需要に合わせてパレットの保有枚数を増加させていく方針



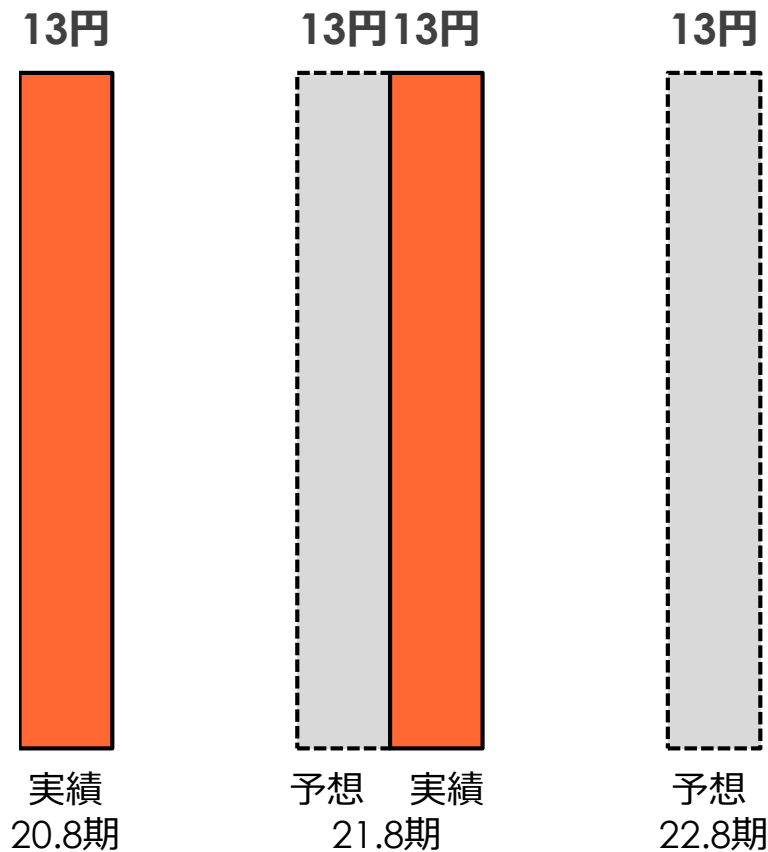
参考資料1  
国内保管用パレット  
レンタル売上



参考資料2  
国内輸送用パレット  
レンタル売上



参照：経済産業省 (月/年)



【基本方針】

- 親会社株主に帰属する当期純利益の10%程度を配当総額とする
- 対前期減配しないことを原則とする
  1. 2021年8月期の1株当たり配当金は13円
  2. 上記基本方針に則り、2022年8月期の1株当たり配当金も13円とする予定



### 3. 今後の取組および方針



## 6 事業部を 3 事業部に集約

事業本部	旧事業部	新事業部	組織変更の目的
物流事業本部	レンタル 販売 物流IoT	<b>物流</b>	物流の川上（製造・保管）から川下（輸送）の過程において、 <b>幅広いソリューションをワンストップで提供</b> できるような体制を構築
	アシストスーツ	<b>アシストスーツ</b>	アシストスーツは引き続きアシストスーツ事業部が管轄 ⇒新たにアシストスーツ営業所を設立 ⇒企画立案（事業部）と営業（営業所）を明確に分離させ、 <b>市場開拓を加速度的に推進</b>
コネクティッド 事業本部	ICT ビークルソリューション	<b>コネクティッド</b>	コネクティッド事業本部内の 2 事業部をコネクティッド事業部に集約 ⇒それぞれが独立して事業を進めていたが、 <b>各事業でシナジーを最大限発揮</b> できるような体制を構築

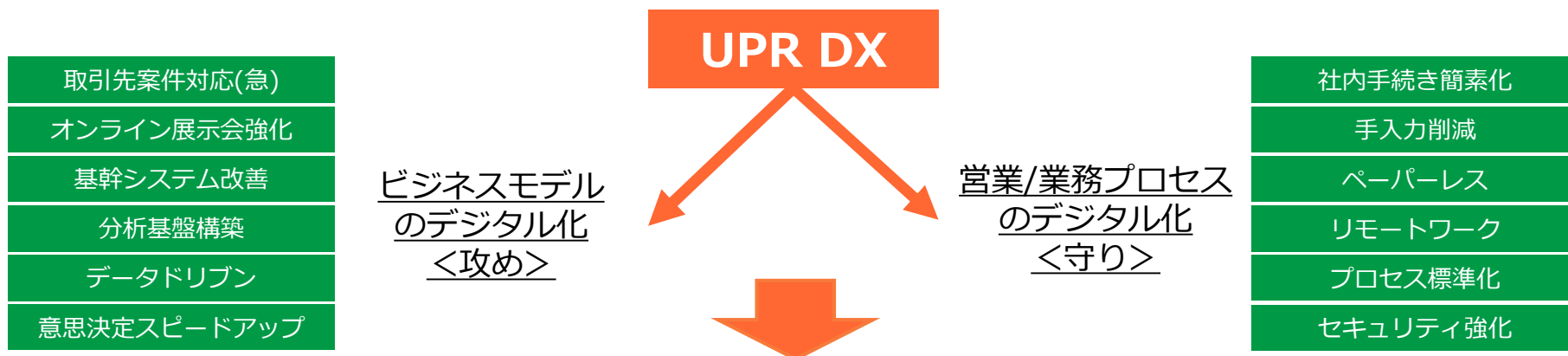
※この組織体制によるセグメントの変更はありません



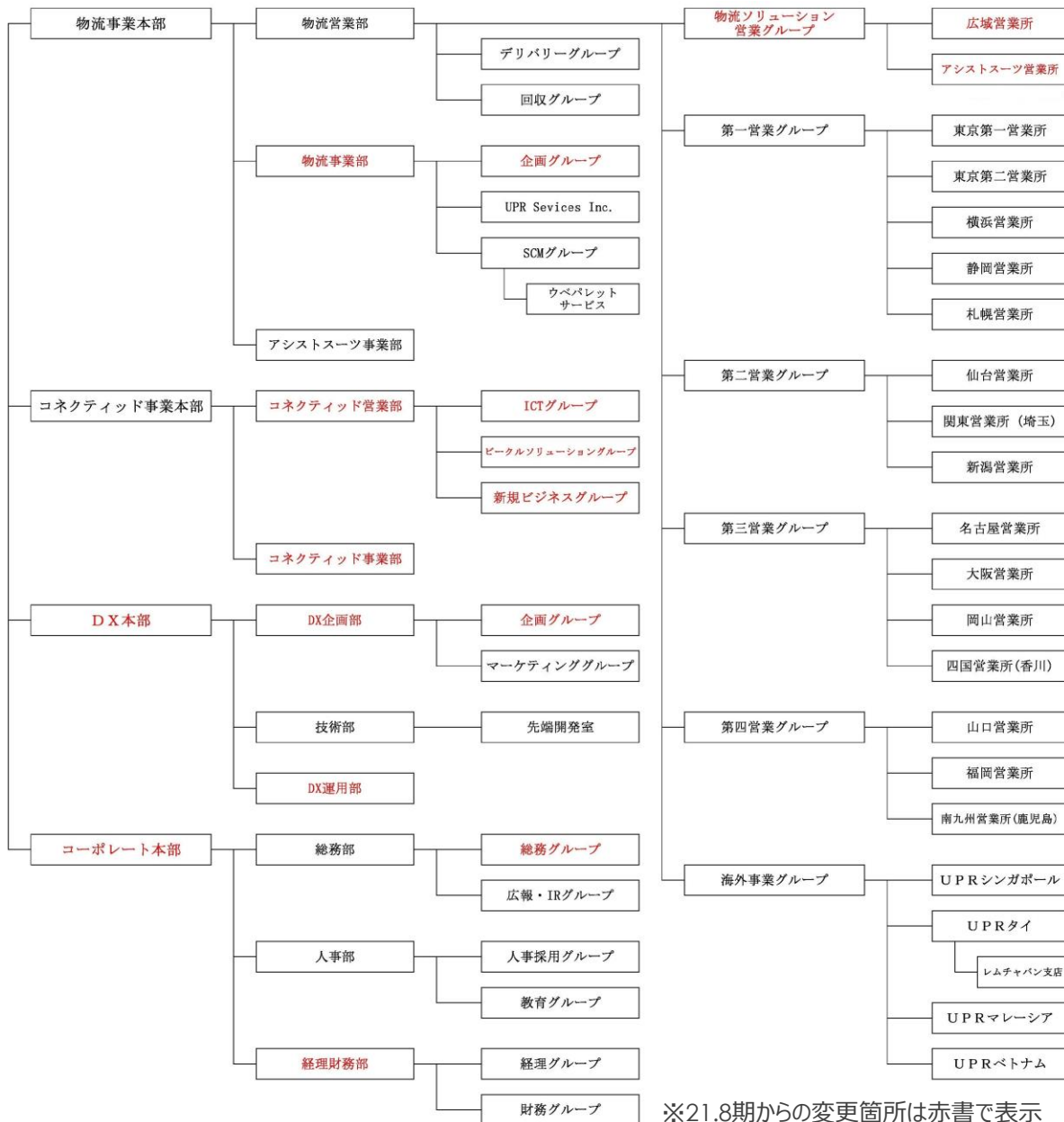
**トップラインの成長を加速させるべく組織を見直し  
中期経営計画達成に向けて体制の強化を図る**

## DXを本部化（3部体制）により更なる推進

- 社内外のDXを加速させるため、DX企画部（旧DX推進部）、技術部（旧技術・マーケティング部）、DX運用部（旧情報システムグループを部へ格上げ）の3部を管轄するDX本部を新たに設立
- 企画、開発、運用の各役割に権限を与え、推進力を高めつつ、本部として一元管理を行う
- 攻めのDX（ビジネスモデルのデジタル化）
  - 事業本部と連携し、海外も含めたSCM全体を対象事業領域として新規事業の検討を推進
- 守りのDX（営業/業務プロセスのデジタル化）
  - 営業力強化のためのSFA導入を皮切りに、お客様向け各サービスシステム、社内向け業務システム、業務アプリケーション、業務端末のリニューアルに着手
  - RPA活用による手入力削減、電帳法に対応したペーパーレス化など徹底的な自動化、効率化、時短化を推進



**急激な人員増加を抑え、最小限の人員構成で成長ドライバーとなる  
コア業務への活動時間を増加させ、UPR全体の事業成長をサポートする**



## 4 本部、3 事業部に組織を改編

### 【物流事業本部】

- レンタル、販売、物流IoTを統合し、商品企画やマーケティングを担う物流事業部を新設
- アシストスーツ営業所を新設し、事業部（企画立案）と営業を分離

### 【コネクティッド事業本部】

- ICTとビークルソリューションを統合し、営業戦略を担うコネクティッド事業部と営業推進部門のコネクティッド営業部を新設

### 【DX本部】

- DX企画部と技術部、DX運用部（旧情報システムグループ）を統括し、システムに関する業務を集約

### 【コーポレート本部】

- 総務人事本部と経理財務部（旧理財部）を統括

※21.8期からの変更箇所は赤書で表示

## 総合物流施策大綱が新たに制定

- 2021年6月「総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）」が閣議決定

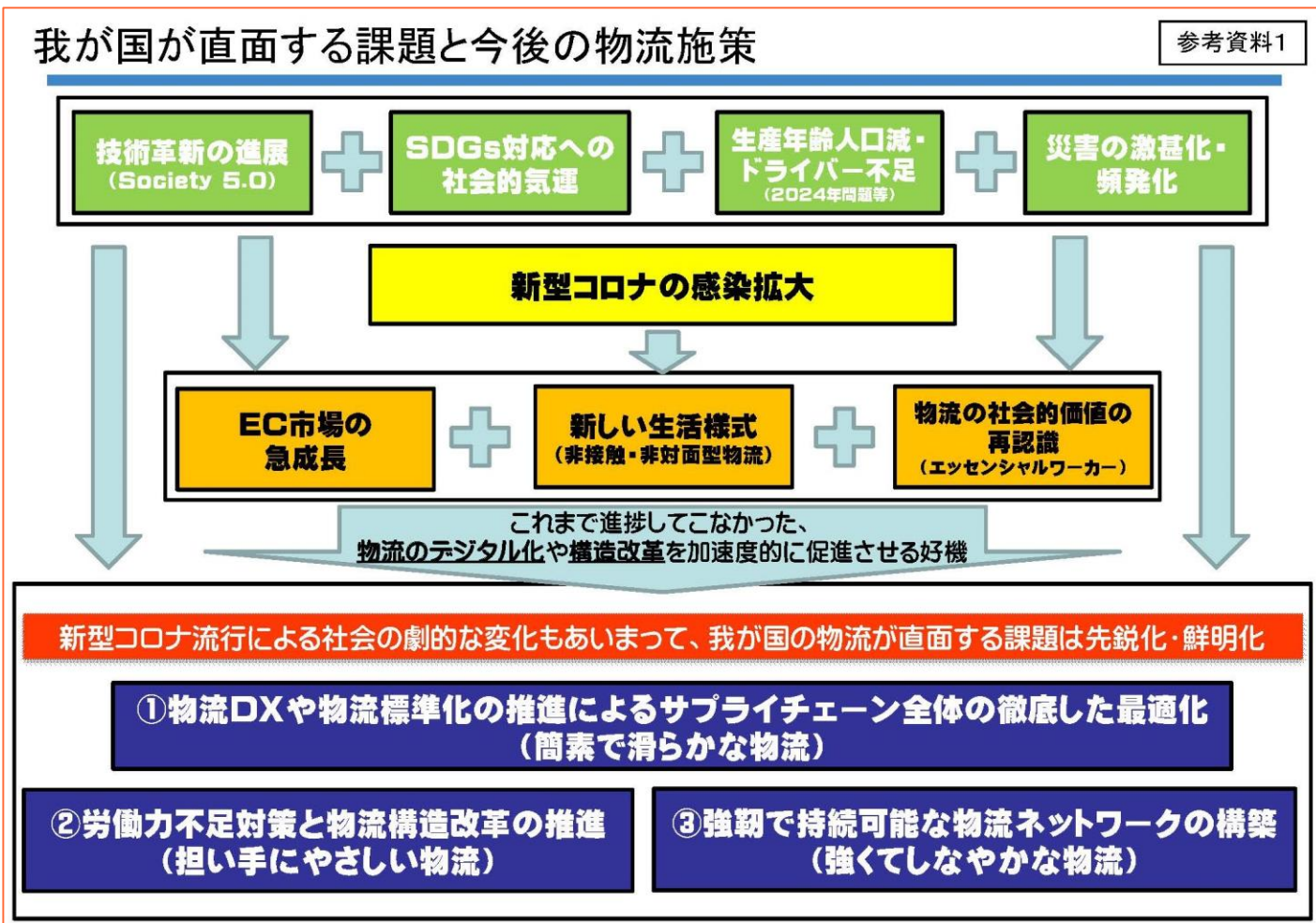
### 【重点施策】

- ① 簡素で滑らかな物流
- ② 担い手にやさしい物流
- ③ 強くてしなやかな物流

上記3つの重点施策実現に向け、

- ・一貫パレット輸送
  - ・パレットの標準化
- を推奨

※参照：国土交通省





# レンタルパレットの活用による物流環境の改善

## 標準化・共有化の必要性（全体像）

- 深刻な物流需給逼迫への対応やカーボンニュートラル対応が求められるものの、モノとデータの標準化・共有化が進んでいないことが大きな阻害要因となっている。
- 標準化・共有化が進めば、大きな効果が生まれる（パレットの例：約5,000億円の経済効果、約3,500万トンのCO<sub>2</sub>削減）。フィジカルインターネットが進めば効果は更に拡大。

物流を取り巻く環境の変化

### ① 深刻な物流需給逼迫

- **需要増** ← 貨物の小口化・多頻度化
- **供給減** ← ドライバー数減少、働き方改革、輸送効率低下

### ② 運輸部門におけるカーボンニュートラルの必要性の高まり

- 日本のCO<sub>2</sub>排出量（約11億800万トン）のうち、**貨物自動車のCO<sub>2</sub>排出量は約6.8%（約7,600万トン）**を占める。

標準化・共有化の状況

### ① 進まない標準化

- 【モノ】（パレットの例）日本では様々なパレットが活用されており、**国際的に見ても標準化率は低い**。標準化されていないことで、バラ積みやパレットからパレットへの積み替え等が発生。
- 【データ】**電話やFAXを用いた受発注が多く**、そもそもデータ化されていない。データ化されていたとしても、**フォーマットがバラバラ**。

### ② 進まない共有化

- 【モノ】（パレットの例）**レンタルパレットのシェアは5%程度**か。パレットの共有化ができれば、個社ごとにパレットを回収する必要が無く、効率的なパレットの管理が可能となる。
- 【データ】データフォーマットが標準化されていないため、**二重入力等が発生し、データの共有化が進まない**。

標準化・共有化した際の効果

パレットの例

### ① 経済効果

- パレット利用により、
- **ドライバーの付随作業は日本全体で年間3.0億時間削減**。その経済効果は、**年間5,197億円**。
  - 荷主事業者から見た**物流コスト比率を5.38%から5.27%に引き下げる（△0.11%）効果**

### ② CO<sub>2</sub>削減効果

- 自社パレットでなく、共同利用パレット（レンタル、他）を使用した場合、
- **3,479万トンのCO<sub>2</sub>の削減効果**

更なる効果

### 物流の更なる合理化・高度化

- 欧州等では、例えば、**フィジカルインターネット**※の議論が進んでいる。物流コストが3割、CO<sub>2</sub>排出量が6割削減されるとの研究結果もあり、**物流起因で企業の成長ポテンシャルが飛躍的に増大する可能性**がある。
- このような議論も踏まえつつ、**物流を合理化・高度化し、産業競争力を高める必要がある**。

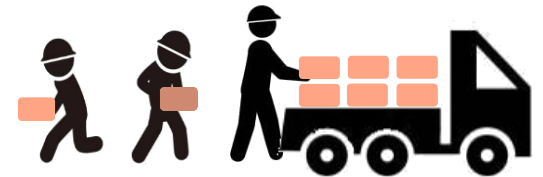
※規格化された容器に詰められた貨物（パケット）を、複数企業の物流アセット（倉庫、トラック等）をシェアしたネットワークで輸送するという構想。

※参照： [経済産業省](#)

## 深刻なトラックドライバー不足

【トラックドライバーの時間外労働上限規制等の導入】

- トラックドライバーは全作業平均に比べ、賃金が1～2割低く、労働時間は2割長く、また手積み手下ろし作業など厳しい労働環境が大きな要因としてトラックドライバー不足が顕著化<sup>※1</sup>
- そうした長時間労働の是正と労働条件改善を目的とし、今後、トラックドライバーにも、「時間外労働上限規制<sup>※2</sup>」等が適用される予定
- 上限規制に違反した場合、トラック事業者には罰則が科される
- 手積み手下ろしの場合、長時間荷役／待機により拘束時間が増加



- 手積み手下ろしからパレット積みに切り替えた場合、荷役作業時間が75%削減<sup>※3</sup>



**パレット輸送化が加速**



※1：一般社団法人日本物流団体連合会、(株)日通総合研究所調べ

※2：2024年4月よりトラックドライバーの時間外労働時間の上限が年960時間以内に規制

※3：経済産業省調べ



## 業界別PPS※およびスマートパレット化の促進

### ■ 各ターゲット業界においてパレット輸送の議論が本格化

#### 家庭紙業界

⇒家庭紙業界主要大手4社のうち、2社目が本格的に導入開始

#### 菓子業界（当社がターゲットとしている業界の一つ）

⇒家庭紙同様、軽くてかさのある商品を取り扱う菓子業界においても物流の合理化が喫緊の課題

⇒2021年8月31日に「菓子標準パレット化促進協議会」の第1回会合を開催

⇒今後、パレット輸送等について具体的な議論が進むことが見込まれる

その他ターゲット業界：**加工紙（紙おむつ等）**・家電・カップ麺・農作物など

### ■ パレット管理の重要性の認識向上

大手ファストフード物流会社様にて、スマートパレットの利用拡大推進

⇒スマートパレットの活用により、パレットの所在や枚数等を適正管理

⇒輸送効率を向上させることで、自社パレットの運用枚数を3割減少および、削減したパレットの製造・輸送にかかるCO2削減を目指す

### ■ 自社保有パレットへのアクティブRFIDタグの市場開拓（スマートパレット化）

⇒サプライチェーン全体の効率化に資するスマートパレットをレンタルパレットのみならず、国内市場の95%を占めると言われる自社保有パレットにも導入を推進する



※PPS（Pallet Pool System）：同一パレットを複数プレイヤーが相互に循環利用する仕組み

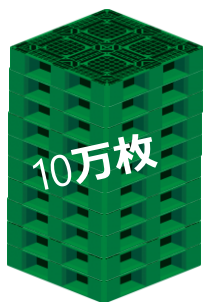
## 次世代対応型ビジネスの更なる成長

セグメント	事業	具体的な施策
物流	物流IoT	<p>高度な管理が求められるワクチンなどの<b>医薬品・検体等の輸送を担う物流会社</b>をターゲットに主力商品「なんつい」の拡販を進める。                      Key word : <u>医薬品の適正流通 (GDP) ガイドライン</u></p>
	アシストスーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>21.8期は当社の売上予想を下回ったものの、高い成長率を見せている。</li> <li>2021年6月より、全国のビックカメラおよびコジマにおける152店舗で、「サポートジャケットBb + FIT」の販売が開始したことで、物流業界以外の顧客層へアプローチができるようになり、<b>アシストスーツ市場の裾野が拡大</b>。</li> <li>引き続き新たな販売チャネルの開拓を進め、<b>農業</b>や<b>介護</b>などの新規業界へのアプローチを推進する。</li> </ul> <p>Key word : <u>健康経営、女性活躍、介護業界「2025年問題」</u></p>
コネクティッド	ICT	<p>21.8期にサービスインした「UPR HACCP」「LoRaサービス」について、22.8期ではその<b>サービス導入顧客数の増加と成長の加速</b>を図る。                      Key word : <u>遠隔監視、非接触、HACCP完全義務化</u></p>
	ビークルソリューション	<p>21.8期はコロナの影響を大きく受けたものの、<b>緊急事態宣言が解除</b>されたことで、シェアカーやレンタカーの需要は<b>回復の兆し</b>を見せている。                      また、<b>無人貸渡鍵システム</b>など、新たなサービスの拡販も図っていく。                      Key word : <u>Maas、スマートシティ、シェアリングサービス</u></p>

## レンタルパレット利用によるCO2削減効果（一貫パレチゼーション）

### 自社パレット輸送からレンタルパレット輸送に 切り替えた場合のCO2削減効果

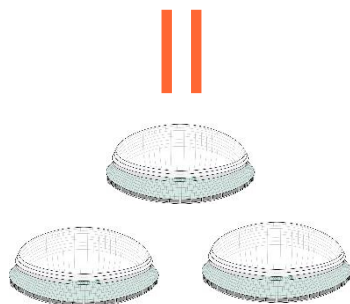
- ①着地最寄りのuprデポへの返送による走行距離減
- ②回収効率化（リードタイム削減）による必要製造枚数減



**1枚当たり74.7kg-CO2/枚年**<sup>※1</sup> の削減が可能

例えば当社輸送パレットへの切り替えが**10万枚**になると

**東京ドーム約3杯分のCO2削減**に繋がります。<sup>※2</sup>



※1 株式会社運輸・物流研究室による調査  
自社パレットはトラック1台分の空パレットを纏めて回収する前提  
プラスチックパレット製造にかかるCO2排出量32.811kg-CO2/枚、木製1.696kg-CO2にて算出

※2 経済産業省 中部経済産業局 中部1クレコラム『第1回 地球のために1トン数千円から』  
<https://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform/column/20150805column.pdf>

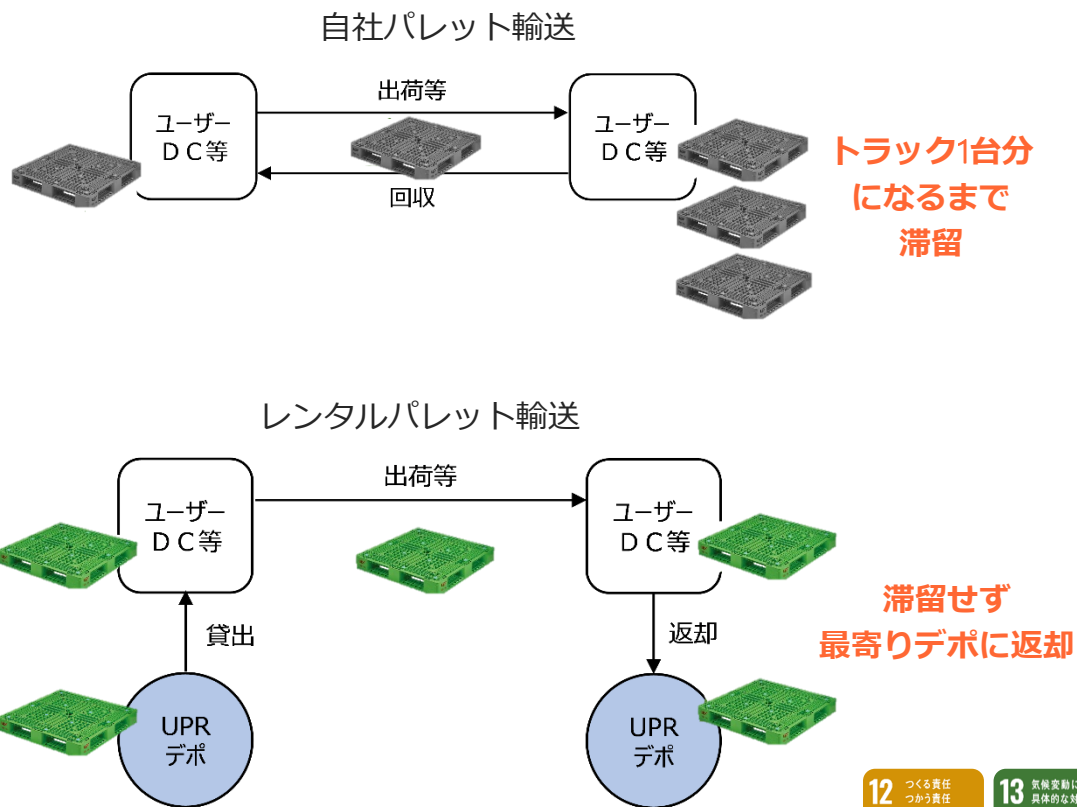
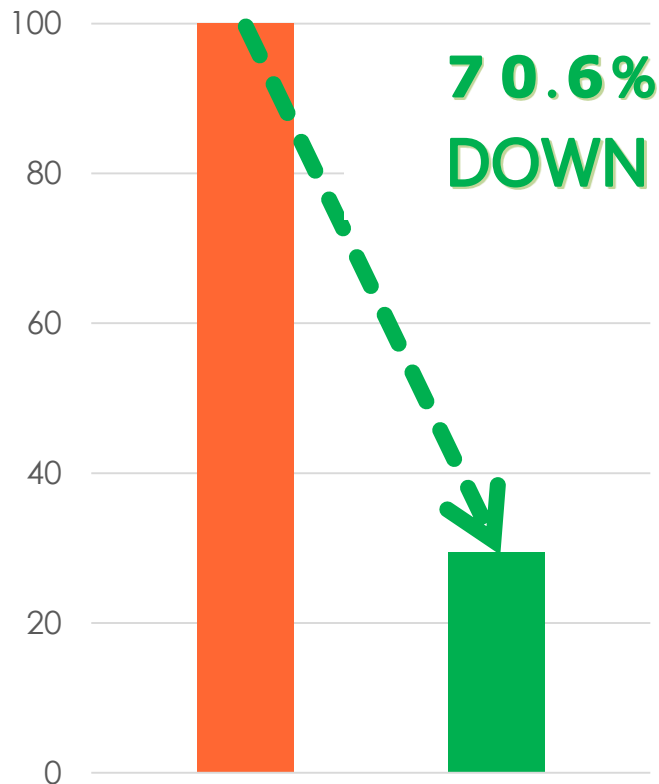
※3 東京ドーム ホームページに基づき、東京ドーム容積を1杯=124万立方メートルで試算



# レンタルパレット利用によるCO2削減効果（製造低減）

## 回収効率の向上によるパレット必要枚数減少の効果

※1  
**製造低減 = 70.6%のCO2削減効果** がある



※1 株式会社運輸・物流研究室による調査  
プラスチックパレット製造にかかるCO2排出量32.811kg-CO2/枚、木製1.696kg-CO2にて算出  
自社パレットはトラック1台分の空パレットを纏めて回収する前提





## 4. 中期経営計画2025の進捗





**人的資本** 情熱あふれ真摯に  
チャレンジする人材

項目		21.8期実績	中計最終年度
<b>有資格者数</b>			
物流事業	ロジスティクス経営士	3名	5名
	物流技術管理士	1名増	10名増
コネクティッド事業	プロフェッショナル人材	1名	5名
<b>女性管理職</b>		3名	5名以上

**知的資本** 新しい価値を創出する  
技術力と知財

項目		21.8期実績	中計最終年度
アクティブタグを活用したソリューションの提供件数		8件	50件
特許等出願件数		11件	15件

**製造資本** レンタルパレット事業を支える  
製品とネットワーク

項目	21.8期実績	中計最終年度
パレット保有枚数	462万枚	約700万枚
家庭紙用 保有枚数	3%増 (20.8期末対比)	100%増
レンタルパレット年間平均稼働率	△5% (20.8期対比)	5%向上
自社デポ新設数	0件	2件

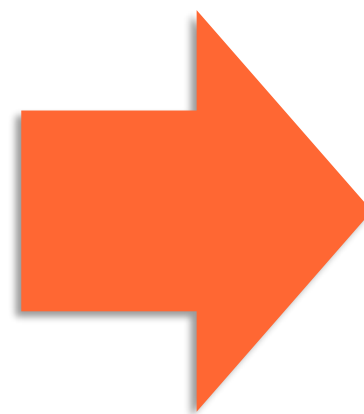
**社会関係資本** 多様な顧客基盤

項目	21.8期実績	中計最終年度
レンタル事業 顧客数	約2,830社	3,500社
輸送用売上比率	20%	25%
海外売上比率	3.9%	5%

- コロナ禍において当社事業を取り巻く環境は大きく変化しましたが、中期経営計画2025で掲げる基本方針に変わりはありません
- ただし、最終年までの途中経過の数値等については、その時々<sup>々</sup>の事業環境等を鑑みながら柔軟に見直し等を図ってまいります

(単位：百万円)

	20.8期 (実績)	21.8期 (実績)	22.8期 (予想)	25.8期 (中計最終年度)
売上高	12,732	12,927	13,831	20,500
経常利益	1,381	850	1,200	2,800
経常利益率	10.8%	6.6%	8.7%	13.7%
設備投資額	4,680	2,099	4,651	6,170
EBITDA	3,773	3,434	3,872	7,340
FCF	△943	△275	△1,152	130
自己資本比率	33.6%	38.8%	38.2%	37.0%





# 5. 参考資料

年月	対象事業	トピックス
2020年9月	AS	「サポートジャケットBb + PRO II」新発売
2020年10月	全社	中期経営計画2025を発表
	VS	キーボックス型モビリティ無人貸渡システムの提供開始
2020年12月	ICT	(株)グリムスパワー様と遠隔監視システムにおいて協業開始
	レンタル	スマートパレットを活用した取組により、グリーン物流パートナーシップ会議「特別賞」を東レ(株)様と共同受賞
	VS	最新型カーシェアリング用車載器「CATS-5L」の提供開始
2021年1月	ICT	(株)モンテローザ様が衛生管理システム「UPR HACCP」を導入
2021年2月	AS	(株)ビックカメラ様が運営するビックカメラおよび、グループ会社のコジマで「サポートジャケットBb + FIT」の取り扱いを開始
	ICT	リーテイルブランディング(株)様と「UPR HACCP」において協業開始
2021年3月	全社	四国営業所を開設（国内14拠点目）
	ICT	(株)マルハンダイニング様が「UPR HACCP」を導入
	全社	「健康経営優良法人2021（大規模法人部門（ホワイト500））」に認定される
	全社	国際物流総合展2021に出展
	VS	「宇部EVカーシェア」の運営事業者に認定される
2021年4月	レンタル	兵庫三木デポ第二倉庫を新設
	レンタル 販売	バイオマス素材を使用した新型パレットをレンタル商品ラインナップとして導入予定

年月	対象事業	トピックス
2021年5月	ICT	(株)伊東園ホテルズ様が衛生管理システム「UPR HACCP」を導入
2021年6月	全社	第2回 関西物流展に出展
	ICT	(株)フォーユー様が「UPR HACCP」を導入
	全社	当社株式が貸借銘柄に選定
	全社	(一社)日本物流団体連合会より「サステナブル活動賞」を東レ(株)様と共同で受賞
2021年7月	全社	「SBI 4+5ファンド」へ出資
	物流IoT	「なんつい」新端末モデルを発表
2021年9月	全社	プロバスケットボール (B3リーグ) クラブ「山口ペイトリオッツ」とユニフォームスポンサー契約を締結



2021  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500



# 売上高詳細（対当初業績予想比）



（単位：百万円）

	20.8期	業績予想 (2020.10.15公表)	21.8期	対前年比		対当初業績予想比		
				増減額	増減率	増減額	増減率	
物流事業	レンタル	8,557	9,365	<b>8,335</b>	△221	△2.6%	△1,029	△11.0%
	販売	2,794	2,717	<b>3,080</b>	285	10.2%	363	13.4%
	アシストスーツ	150	280	<b>174</b>	23	15.8%	△106	△37.9%
	物流IoT	342	380	<b>399</b>	56	16.6%	19	5.1%
	合計	11,845	12,743	<b>11,990</b>	145	1.2%	△753	△5.9%
コネクテッド事業	ICT	349	380	<b>490</b>	141	40.4%	109	28.9%
	ビークルソリューション	537	434	<b>446</b>	△91	△17.0%	11	2.7%
	合計	887	815	<b>937</b>	49	5.6%	121	14.9%
<b>全社合計</b> (うち海外)	<b>12,732</b> (476)	<b>13,599</b> (511)	<b>12,927</b> (504)	<b>194</b> (27)	<b>1.5%</b> (5.8%)	<b>△632</b> (△6)	<b>△4.7%</b> (△1.4%)	



# 損益計算書 (PL) (対当初業績予想)



(単位：百万円)

	20.8期	当初 業績予想 (2020.10.15公表)	21.8期	対前年比		対当初業績予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	12,732	13,559	<b>12,927</b>	194	1.5%	△632	△4.7%
売上原価	8,109	8,809	<b>8,944</b>	834	10.3%	135	1.5%
売上総利益	4,622	4,750	<b>3,982</b>	△640	△13.8%	△767	△16.2%
売上総利益率	36.3%	35.0%	<b>30.8%</b>	△5.5pt	-	△4.2pt	-
販売費及び一般管理費	3,488	3,865	<b>3,452</b>	△35	△1.0%	△412	△10.7%
販管費率	27.4%	28.5%	<b>26.7%</b>	△0.7pt	-	△1.8pt	-
営業利益	1,134	884	<b>530</b>	△604	△53.3%	△354	△40.1%
営業利益率	8.9%	6.5%	<b>4.1%</b>	△4.8pt	-	△2.4pt	-
経常利益	1,381	1,116	<b>850</b>	△531	△38.4%	△266	△23.9%
経常利益率	10.8%	8.2%	<b>6.6%</b>	△4.2pt	-	△1.6pt	-
当期純利益	984	725	<b>561</b>	△423	△43.0%	△164	△22.7%
当期純利益率	7.7%	5.4%	<b>4.3%</b>	△3.4pt	-	△1.1%	-
設備投資額	4,680	6,152	<b>2,099</b>	△2,580	△55.1%	△4,052	△65.9%
減価償却費	2,288	2,751	<b>2,559</b>	270	11.8%	△192	△7.0%
EBITDA	3,773	3,904	<b>3,437</b>	△336	△8.9%	△467	△12.0%
研究開発費	129	107	<b>91</b>	△37	△29.0%	△16	△14.9%

# 売上高詳細（四半期毎）



(単位 売上：百万円 増減率：%)

		20.8期								21.8期							
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率
物流事業	レンタル	2,114	9.5	2,108	10.3	2,106	6.9	2,227	7.2	2,170	2.6	2,042	△3.1	2,018	△4.2	2,104	△5.5
	販売	665	8.9	637	4.9	737	7.0	753	27.8	697	4.8	713	12.0	969	31.4	700	△7.1
	AS	46	130.0	41	9.3	39	△19.9	22	△31.8	40	△14.0	40	△3.9	41	6.4	52	129.2
	物流IoT	80	△2.3	83	10.1	83	△3.3	94	13.3	88	10.0	94	13.2	109	30.3	106	12.9
	合計	2,908	9.9	2,871	9.1	2,966	6.2	3,098	11.3	2,997	3.1	2,890	0.7	3,138	5.8	2,963	△4.4
コネクティッド事業	ICT	82	54.3	95	15.2	100	△2.0	71	△13.6	111	34.4	97	1.8	145	45.1	136	92.3
	VS	136	31.7	125	31.3	132	△9.2	144	△3.3	108	△20.0	109	△12.2	117	△10.8	109	△24.0
	合計	218	39.4	220	23.8	232	△6.3	215	△7.0	220	0.6	206	△6.2	263	13.3	246	14.4
<b>全社合計</b> (うち海外)	<b>3,127</b> (152)	<b>11.6</b> (26.1)	<b>3,091</b> (100)	<b>10.0</b> (△8.7)	<b>3,199</b> (97)	<b>5.1</b> (△1.6)	<b>3,314</b> (126)	<b>9.9</b> (9.7)	<b>3,217</b> (128)	<b>2.9</b> (△15.5)	<b>3,097</b> (122)	<b>0.2</b> (21.8)	<b>3,401</b> (132)	<b>6.3</b> (34.9)	<b>3,210</b> (121)	<b>△3.1</b> (△3.7)	

AS = アシストスーツ VS = ビークルソリューション

\*増減率は対前年同期比で計算しております

## レンタルパレット保有数量 (2021年度発表)

一般社団法人日本パレット協会 調査

パレットの種類	大きさ(mm)	保有数量											
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
木製平パレット	1100×1100	4,709,582	4,267,114	4,388,293	4,303,859	4,074,490	3,743,365	3,720,861	3,784,298	3,687,607	3,863,848	3,932,524	2,717,600
	1300×1100	190,583	208,469	370,165	482,259	472,780	534,374	518,118	478,577	434,669	471,502	488,032	439,072
	1400×1100	2,123,430	1,904,245	2,037,849	1,884,983	1,871,562	1,884,621	1,861,156	1,910,893	1,977,211	1,910,242	1,980,149	1,858,578
	1200×1000	179,780	171,278	175,138	180,352	167,773	181,773	180,061	173,975	161,252	167,582	156,233	114,096
	その他	259,206	257,155	230,152	234,268	273,019	254,165	270,262	284,835	277,334	290,524	307,098	355,078
	小計	7,462,581	6,808,261	7,201,597	7,085,721	6,859,624	6,598,298	6,550,457	6,632,577	6,538,073	6,703,698	6,864,038	5,484,424
プラスチック製平パレット	1100×1100	7,546,642	8,114,861	9,459,591	9,824,047	10,160,286	10,218,509	10,465,151	10,981,457	11,451,656	12,568,132	14,050,946	14,222,241
	1100×900	288,600	208,745	201,622	183,700	175,178	115,545	137,715	100,924	68,814	40,442	52,000	35,673
	1200×1000	165,813	207,484	282,495	313,614	347,194	376,903	421,271	428,073	474,888	497,165	564,195	654,456
	1400×1100	569,981	682,827	851,544	916,315	969,888	1,126,051	1,225,031	1,208,459	1,280,786	1,572,896	1,660,343	1,841,369
	その他	168,895	202,945	223,867	243,167	703,164	358,230	361,465	363,893	364,091	612,687	750,565	764,902
	小計	8,739,931	9,416,862	11,019,119	11,480,843	12,355,710	12,195,238	12,610,633	13,082,806	13,640,235	15,291,323	17,078,050	17,518,641
ロールボックスパレット		65,526	62,448	61,793	72,906	73,399	72,364	76,369	70,731	72,669	82,153	72,880	43,500
ボックスパレット		11,477	13,062	8,010	12,820	10,693	9,543	8,004	6,621	6,990	17,265	17,098	1,500
その他のパレット		653,781	659,903	694,236	750,848	793,326	796,689	847,736	930,426	928,316	769,774	1,042,571	1,179,278
合計		16,933,296	16,960,536	18,984,755	19,403,138	20,092,752	19,672,132	20,093,199	20,723,161	21,186,283	22,864,213	25,074,639	24,227,343
前年比		100.2%	100.2%	111.9%	102.2%	103.6%	97.9%	102.1%	103.1%	102.2%	107.9%	109.7%	96.6%

※参照：[一般社団法人 日本パレット協会HP](#)より

## 【免責事項】

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や安全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは安全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。

実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。

いかなる目的でも、本資料の一部または全部を、無断で転載、二次利用することはご遠慮ください。